る中長期的な計画の作成に当たっては、以下の事項を検討することにより、その適確な作成に資するものである。

⑴～⑶　［略］

⑷　上水道業等関連高度省エネルギー増進設備等

⑴～⑶に掲げるもののうち、判断基準中目標及び措置部分の実現に特に資する設備・システム（以下「上水道業等関連高度省エネルギー増進設備等」という。）の具体例としては、別表５に掲げる設備・システムが有効であることから、中長期的な計画の作成における重点的な検討対象として掲げるものである。

別表１～４　［略］

別表５　上水道等関連高度省エネルギー増進設備等

設備・システム区分	具体的内容
潜熱回収型ボイラー	排ガス中の潜熱を回収することにより熱効率を高めたもの。
高効率ボイラー	ボイラーの燃焼排熱を空気又は給水予熱に利用し、かつ定格時空気比が1.2以下で、熱効率が90％以上のもの。
高効率温水ボイラー	排ガス温度を250℃以下とする熱交換器を有し、定格時空気比1.2以下、熱効率が88％以上のもの。
廃熱利用ボイラー	他プロセスの排ガスの顕熱を利用したもの。

る中長期的な計画の作成に当たっては、以下の事項を検討することにより、その適確な作成に資するものである。

⑴～⑶　［略］

［新規］

別表１～４　［略］

［新規］

高効率工業炉	急速加熱式（排ガスを被加熱物に噴射し、又は、近距離で加熱することにより加熱時間を短縮したもの）、予熱・加熱一体炉、高断熱、燃空流量比例制御、衝撃噴流加熱。
ハイブリッド式加熱システム	燃焼による予熱後、誘導加熱等で加熱することにより、エネルギー消費原単位を向上させる複数の熱源を使用する加熱システム。
塗料燃焼型焼付乾燥炉	塗料溶剤蒸気の焼却熱を回収し、焼き付け加熱熱源とするもの。
排熱利用焼き戻し炉	焼入れ炉の燃焼排ガスを焼き戻し炉の熱源とするもの。
ハンプバック炉	加熱帯が出入口より上部にあり、高温の炉内ガスを閉じ込めることにより、熱ガスの外部リークを少なくするよう設計された炉。比較的小型の連続加熱炉、連続処理炉に有効。
高性能アーク炉	高感応答アーク炉、ＵＨＰアーク炉、直流アーク炉、排ガスによる原料予熱装置付きアーク炉。